

BLEを用いた位置検知サービス「ロケーションネット」



株式会社NTTドコモは、Bluetooth Low Energy (BLE) を用いた位置検知サービス「ロケーションネット」を、本年10月26日より法人企業や自治体向けに提供開始します。タオソフトウェアは、NTTドコモより受託開発を受け、スマートフォンアプリ、サーバの設計、開発を担当しております。タオソフトウェアでは、引き続きBLEタグ、物の位置情報検出等、IOTサービスの開発に取り組んでいきます。

「ロケーションネット」とは

従来のGPSを活用した位置管理サービスは、高架下や屋内などの見通しの悪い場所では、計測に必要なGPS電波の取得が難しく、計測の精度が低下したり、電力消費量が多かったりと課題がありました。それに対し、本サービスは特定のエリア内に検知器を設置し、管理対象の「人物」や「物品」に専用のタグを付与することで、Bluetoothによる通信を行うことができ、取得した位置情報を専用のサーバにアップロードすることで、スマートフォン等の専用アプリやWEBサイトから管理対象の位置情報を確認することができます。これにより、GPS電波が届かない場所に検知器を設置することで位置把握を可能にします。

参考

「ロケーションネット」の提供開始

https://www.nttdocomo.co.jp/info/news_release/2017/10/19_00.html